

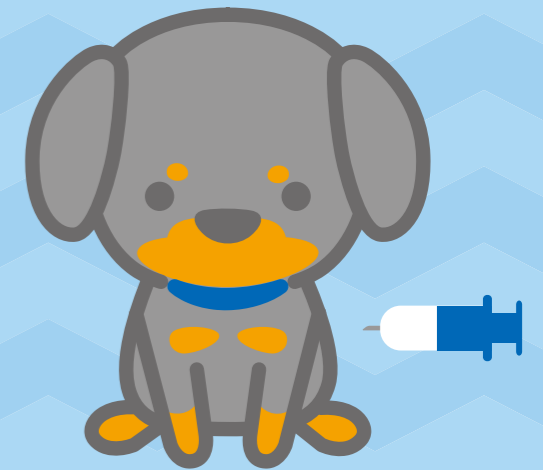
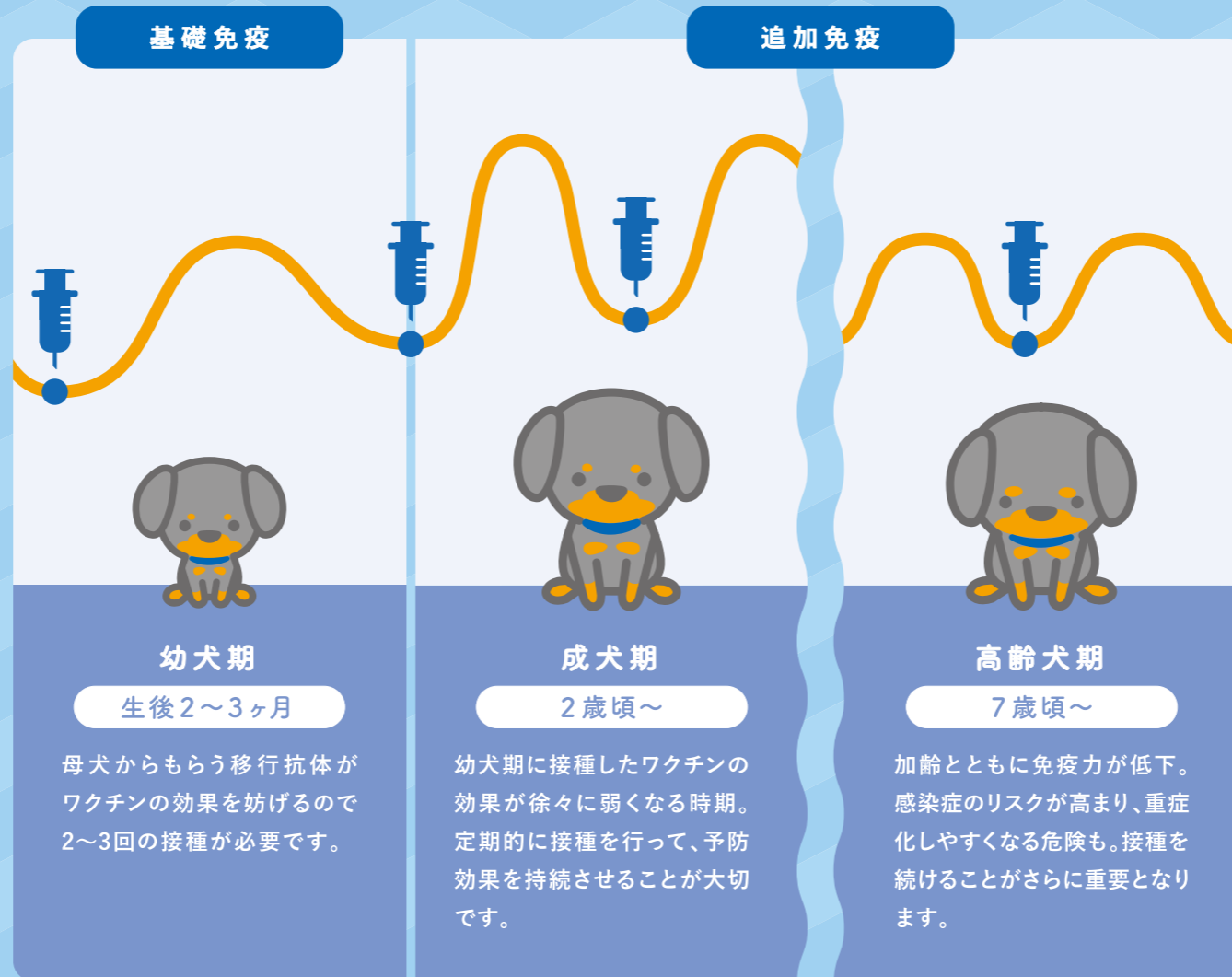


ワクチンの効果は徐々に弱まります。 接種は定期的に。

免疫をしっかりつけるため、獣医師と相談のうえ、効果的なタイミング*を確認しておくことが大切です。



ワンちゃんの 混合ワクチン 大切なご案内



なによりも、
いのちを想うワクチン。



次回接種の目安時期

年 月頃
(歳 ヶ月)

知っているようで知らない、
ワクチンや感染症のこと。
さらにくわしく、わかりやすく、
ご紹介しています。

犬のワクチン.com

詳しくは当院にご相談ください。

今回の混合ワクチンで 予防できる感染症を知っておきましょう。

混合ワクチン	感染症	死亡率・伝染性	主な症状
5 種ワクチン	● 犬ジステンパー	死亡率が高い	高熱/目ヤニ/鼻水 食欲不振/おう吐や下痢
	● 犬パルボウイルス感染症	死亡率が高く、 伝染性が強い	激しい下痢・おう吐/食欲減退 急激な衰弱/脱水症状
	● 犬パラインフルエンザウイルス感染症	伝染性が 非常に強い	発熱/咳/鼻水/元気消失
	● 犬伝染性肝炎		発熱/腹痛/おう吐 下痢/肝炎/目の白濁
	● 犬アデノウイルス2型感染症		発熱/食欲不振/くしゃみ・鼻水 短く乾いた咳/肺炎
	● 犬コロナウイルス感染症		胃腸炎 子犬：おう吐/重度の水様性下痢
	● 犬レプトスピラ感染症 (カニコーラ型 イクテロヘモラジー型)	死亡率が高く、 人にも感染する	発熱・黄疽/歯肉からの出血 筋肉痛/脱水症状からの尿毒症 腎臓疾患/肝臓疾患
(グリッポチフォーサ型 ボモナ型)			
6 種ワクチン			
8 種ワクチン			
10 種ワクチン			

接種の前にチェック

ワンちゃんの状態を
確認しましょう。

妊娠している



ワクチン接種はできません。

- 熱がある
- 寄生虫がいる
- アレルギー体質である
- 興奮している
- 病気やケガの治療中、
または治癒後間もない
- 以前のワクチン接種時に
異常が見られた



獣医師にご相談ください。

ワクチンやおくすりが
合わなかったことがあれば
必ずお伝えください。



接種の後にチェック

ワンちゃんを注意して
見守りましょう。

接種～
3時間

変わった様子がないか
特に注意する

当日

様子をよく見る
 安静にする

2～3
日間

激しい運動を控える
 シャンプーを控える

2～3
週間

他の犬との接触を
避ける

いつもと違う様子は
ありませんか？

- おう吐・下痢
- 元気・食欲の減退
- 注射部位を痛がる
- 全身の痒み、発赤
- 顔のむくみや腫れ



ワクチンの副反応の可能性も。
すみやかに当院にご連絡ください。